

試練を乗り越え、熊野古道、新たなるステージへ!

衝撃と、戦慄が走りました。
 平成23年9月は、紀伊半島に暮らす人々にとって、忘れることの出来ない時となりました。
 紀伊半島南部の河川・山林は、大豪雨により、甚大な被害を受けました。
 その被害から1ヶ月半後の10月16日、熊野速玉大社の秋の例大祭「御船祭」の神事が執り行われました。熊野速玉大社のご祭神「速玉大神」と「夫須美大神」が、馬や神輿・船を用いて渡御される神事です。なかでも、夫須美大神の乗った神幸船が「諸手船」に曳航されて熊野川を遡っていく様子は、1000年以上の歴史に培われた伝統と優美さを感じさせる見事なものです。
 諸手船の操船は、紀宝町鶴殿地区の鳥止野神社氏子総代で構成されています。水害により、航路の安全も保障できないこともあり、当初は出船を取り止めることも考えていました。しかし、伝統ある神事であり、地域の人々を元気づけるためにも考え、航路の水深を確かめるなど入念な準備して行うことを決定されたそうです。

紀宝町の住民が一体となって復興に向けて取り組まれている中での今年の御船祭は、水害以来沈みがちな人々の気持ちに光明をもたらしたことでしょう。
 11月7日・8日には、NPO法人みんなのクラブネット三重主催のボランティアツーリズムが熊野川流域で開催されました。水害の被害が甚大な紀宝町「浅里」地区でのボランティア活動と川舟「三反帆」の遊覧体験を組み合わせたツアーです。



台風12号の大水害当日の熊野川下流域の様子(谷上氏提供) 熊野川下流域の集落「浅里」地区の現状 熊野古道宣言博りの現状

舟を操るのは、木造船の造船も手がけ、「熊野川体感塾」として熊野川の魅力を川舟乗船を通して伝える活動をされている谷上嘉一氏。

谷上氏は、大水害当日の夜7時～翌日夕方にかけて、人家の多くが水没するほどの増水が見られた三重県紀宝町相野谷川流域にて川舟で救助にあたっておられました。濁流が次から次に押し寄せ、流木が激突する恐れもある中での決死の活動でした。

木造船の造船も再開され、当面災害復興ボランティアと組み合わせた形での川舟乗船ツアーを展開されていられるそうです。

地域の人々も試練を乗り越え、また大勢のボランティアや支援も受けて、紀伊半島南部は徐々に日常に立ち返りつつあります。熊野古道へ、紀伊半島へ、実際に見に確かめにいらしてください。苦労と楽しみを分かち合える、すばらしい人と自然の豊かなこの土地へ。



平成23年10月16日の御船祭の様相(紀宝町提供)



鳥止野神社氏子総代 荻屋幹生氏(鳥止野神社氏子総代)

「こんなにも牙をむいた熊野川の姿は初めてです。今年の御船祭は諸手船を出せないと思いましたが、なんとか諸手船のお役目を果たせました。ハア〜、エイヤサ〜ハリ!!!とハリハリ踊りの掛け声も高らかに響かせましたよ。」
 そう語るのは、諸手船に乗組む鳥止野神社氏子総代の荻屋氏。



熊野古道からのてがみ
 21 通目

私は紀北町海山区で生まれ育ち、それも不便な旧桂城村で過ごしました。中学時代の三年間、風雨の中も毎日白浦から島勝を「徒歩」で通った思い出が鮮明に残っています。今思えばその時の徒歩が終生身についていたのだと思います。

長い間務めもあり歩く事より遠ざかっておりました。二十数年前にひどい腰痛になやまされ歩く事も難儀になり、整体や色々な治療を試しましたが、全然直りませんでした。
 しかし、痛みを我慢しながら山登りに挑戦した結果、三ヶ月位で完治しました。何よりの良薬になりました。山登りに感謝です。それからは三重県津市の山登りの会に入れて貰い、本格的に山登り三昧になりました。
 いちばんの思い出は世界遺産の那智勝浦から吉野まで大峯奥駈の縦走でした。また熊野古道は、殆どの伊勢路コースを制覇し、最近では花尻先生の著書を片手に、昔から見慣れているけれど、名前の知らない草花を観察しながら歩く楽しさが加わり一層楽しくなりました。
 ある日、地元の人と幼かりし頃に道があった所を一緒に歩いてみました。

私は紀北町海山区で生まれ育ち、それも不便な旧桂城村で過ごしました。中学時代の三年間、風雨の中も毎日白浦から島勝を「徒歩」で通った思い出が鮮明に残っています。今思えばその時の徒歩が終生身についていたのだと思います。



中村さんの生まれた紀北町海山区白浦と島勝



次は大紀町の小野 幸年さん



中村 辰彦さん(津市) 津峠の会 副会長

そのコースは大白公園から三浦の始神峠登り口までの約二時間コースで歩き良い快適な道になり、少し寄り道すれば紀伊の松島、その先には桂城湾が展望できる絶景があり、また途中からは始神峠に通じる尾根道も整備されました。熊野古道本道ばかりでなく、村から村へと続くわき道があり、人知れず続いていた古道もおためしにならればと思います。



絶景「紀伊の松島」

その古道は大変な荒れようで人が歩ける様な道では無くなっています。地元有志の方々と約四ヶ月掛けて開通出来る様にいたしました。聞けば約七十五年ぶりの復活になるそうです。

花尻 薫からの季節のたより No.21 「南国熊野の野生みかん食べられますか？」

山里に霜が降り、ヒヨドリがパイパイと賑やかになる頃、熊野紀州の野生みかんと呼ばれるタチバナが色づきます。正式な名前は「ニッポンタチバナ」または「ヤマトタチバナ」とよび日本に昔から自生していた野生のみかんです。花も実も豊かな熊野にふさわしい名品です。花は文化勲章にかたどられたもので日本文化の象徴を表しているのです。果実(実)の大きさは約2cmほどの小さなみかんの形をしています。種が多く酸味が強いので人間様には敬遠されますが、木枯らしの吹く頃には小鳥たちの大好物になり、遠方からでも小さな実が

よく見えるのでヒヨドリの餌に最適だと思います。小鳥の糞の中に種が混じり、ところどころで芽が吹き、小苗が生育しています。紀北町や熊野市などの南向きの温暖な場所には、200余年も潮風を浴びて成長した大樹も見られます。山口県・四国・九州方面でも点々と分布して南国の里に生きているのです。
 ちなみに、田道間守が中国へ出向き探し求めたタチバナ(京都御所のタチバナ)は実が少し大きく、熊野地方の野生の「ニッポンタチバナ」「ヤマトタチバナ」とは出身地が異なります。



上:ニッポンタチバナの花 下:ニッポンタチバナの果実

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
 尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00
 料 金: 中学生以上 ...1,200円
 子供 ...700円
 乳幼児 ...無料
 60歳以上 ...1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00
 入 浴 料: 一般 ...600円
 65歳以上 ...500円
 4歳~小学生 ...300円
 4歳未満 ...無料

お風呂がりは、カフェでまったり!

営業時間: 9:00~21:00 (ラストオーダー20:30)

**★熊野古道センターニュースレター★
 “熊野古道センターからのてがみ 2011年冬号”**

- 発行日:2011年12月4日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:高野
- 連絡先:
 〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4
 TEL 0597-25-2666
 FAX 0597-25-2667
 Mail info@kumanokodocenter.com
 HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

●お車で越しの方は...
 国道42号線で尾鷲市内→矢の浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車で越しの方は...
 ■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅前」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車
 ■松阪駅
 →南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車(約2時間)

6000111204TA

祝! 三重県立熊野古道センター 開館5周年

平成24年2月をもって、熊野古道センターは開館5周年を迎えます。

おかげさまで

川端守センター長より
皆様にご挨拶いたします。

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて7年余、熊野古道センターが開館してから5年になります。この機会に、道の世界遺産としては先輩格のスペイン巡礼道の魅力を、いろいろな角度から取り上げ、熊野古道への認識を新たに致したく、企画展を中心に、パネルディスカッション・フラメンコギター演奏会・特別展示・料理教室などを開催します。

ご来場いただき、ご見聞いただきますようお願いいたします。

三重県立熊野古道センター開館5周年記念
企画展 世界遺産を歩く
～サンティアゴ・デ・コンポステーラへの道～

熊野古道と同じく、巡礼道の世界遺産に登録されているサンティアゴ・デ・コンポステーラへの道を取り上げます。年間約10万人以上が訪れる巡礼道の魅力に迫ります。



入場料:無料
場 所:企画展示室
期 間:平成23年12月23日(金・祝)
～平成24年2月19日(日)
*12月31日、1月1日は休館

付属企画 「池田宗弘作品展 ～サンティアゴ巡礼の道に沿って～」

1983年に文化庁研修生としてスペインに留学し、巡礼道のロマネスク美術を研究した彫刻家の池田宗弘氏の個展を開催します。サンティアゴ巡礼道について日本での第一人者である池田宗弘氏の大作「サンティアゴ巡礼の道絵巻」を始め、彫刻や絵画を展示します。

◇期 間:平成23年12月23日(金・祝)～平成24年2月19日(日)
午前10時～午後3時 *12月31日、1月1日は休館
◇入場料:無料
◇場 所:熊野古道センター研究収蔵棟 特別展示室

付属企画 「フラメンコギタリスト 沖仁コンサートin熊野古道センター」

フラメンコギター国際コンクールにて、日本人初の優勝を成し遂げた、沖仁さんをお招きし、コンサートを開催します。迫力溢れるフラメンコギターの生演奏をお楽しみ下さい。

◇日 時:平成24年2月12日(日)
開演/午後3時 終了/午後4時30分(時間は変更の可能性あり)
◇場 所:熊野古道センター大ホール
◇定 員:200名(先着順・要申込)
◇入場料:3,500円(別途振込手数料)
◇出 演:沖仁氏(フラメンコギタリスト) 他

付属企画 シンポジウム「サンティアゴ巡礼道歩いて」

フランスからスペインに続く世界遺産「サンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼道」の素晴らしさを伝え、日本からの巡礼者のサポートをするため2008年に「日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会」を設立した森岡朋子氏に、設立から現在の活動についてお話しいただきます。

また、シンポジウムでは、川端守センター長をコーディネーターに、パネリストそれぞれの目線からサンティアゴ・デ・コンポステーラを紹介し、その魅力、在り方について討論します。

◇日 時:平成24年1月7日(土) 午後1時～午後4時30分(予定) ◇定 員:200名(先着順・要申込)
◇場 所:熊野古道センター大ホール ◇参加料:無料

- 基調講演:森岡朋子氏(日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会代表)
- シンポジウムコーディネーター:川端守氏(熊野古道センター・センター長)
- パネリスト:森岡朋子氏、黛まどか氏(俳人)、嵐田啓明氏(日本経済新聞社写真部編集委員)

付属企画 料理教室「巡礼道で出会ったスペイン料理」

講師の川端美智子氏が、実際にサンティアゴの巡礼道歩いた際に出合ったスペインの家庭料理を再現し、家でも作れるスペイン料理をみなさんにご紹介します。

◇日 時:平成23年2月4日(土) 午前10時～午後1時 ◇参加料:2,000円(材料費を含む)
◇場 所:熊野古道センター体験学習室 ◇講 師:川端美智子氏
◇定 員:25名(先着順・要申込)

地域の情報 News Pick Up!

平成23年度 **熊野古道フォトコンテスト** 締め切り間近!!
作品募集中!!

主催 三重県立熊野古道センター 共催 東紀州観光まちづくり公社

●とっておき部門「東紀州の四季」
風景・動物・植物などを通して、三重県東紀州の魅力を表現した写真

●お気楽部門「笑顔で東紀州」
三重県東紀州の風景や人の暮らしを題材に、おもしろ写真を通して楽しもう

締切 平成23年12月12日(月) 当日必着

応募先・問合せ先 三重県立熊野古道センター フォトコンテスト係
〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL:0597-25-2666 FAX:0597-25-2667

*応募は全て、東紀州地域内(三重県北紀町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町)の被写体を撮影した未発表の作品に限ります。
*詳細な応募規定、応募の入手は、熊野古道センターへお問合せいただくか、センターHPをご覧ください。

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

9月3日から4日にかけて、紀伊半島南部を中心に台風12号が猛威をふるい、和歌山県世界遺産センターもその影響を受け、被害は甚大なものとなりました。事務所である「熊野本宮館」は床上浸水1.5m、電気機器は壊滅、建物自体も傾き、一般の方は現在も立入禁止となっています。

和歌山県世界遺産センター職員は、「熊野本宮館」で勤務していた他組織の皆さんとともに、熊野本宮大社近くの「田辺市本宮行政局3階」にある仮事務所にて日常業務を執り行っています。

職員一同頑張っていますので、近くにお越しの際はぜひ立ち寄りください。



熊野古道の状況ですが、世界遺産登録区間の11月11日時点での情報をお伝えします。

注意!



中辺路ですが、小広峠から船玉神社まで通行禁止区間となっています。復旧の目処はたっていません。詳細は田辺市教育委員会へお問い合わせください。

小辺路ですが、奈良県内の区間はほぼ通行禁止区間となっています。こちらも復旧の目処はたっていません。ただ、奈良県柳本橋から和歌山県八木尾バス停までのいわゆる「果無越え」区間は通行可能であり、和歌山県内の小辺路区間も通行可能です。詳細は、高野町教育委員会、田辺市教育委員会、奈良県野迫川村教育委員会、奈良県十津川村教育委員会にお問い合わせください。

大辺路ですが、「富田坂」安居辻松から安居の渡し場跡まで通行禁止区間となっています。こちらも復旧の目処はたっていません。詳細は白浜町教育委員会へお問い合わせください。

通行可能な熊野古道であっても、現在でも注意を要する箇所は見受けられますし、今後の天候によっては状況が変わるかもしれません。古道を歩かれる際は、必ず事前に情報収集をおこない、万全の準備を整えてから歩いてください。

熊野古道は文化財であり観光資源でもあります。住民や来訪者だけでなく、すべての人々の宝物であることは間違いありません。千年続くこの道を、次の千年へと繋げていきましょう。

以前道普請をご紹介しましたが、今回の台風被害を受け、様々な形でクローズアップされています。もしお時間があれば、ぜひ「熊野古道修復活動」道普請にご協力ください。

和歌山県世界遺産センター 一時移転先:田辺市役所本宮行政局 3階(田辺市本宮町本宮2-19) TEL 0735-42-1044 FAX 0735-42-1560 詳しくは、<http://www.sekaiisan-wakayama.jp/> をご覧ください。

イベント情報 Event Info.

企画展 「熊野灘が運ぶモノ ～江戸期～明治期の廻船を中心に～(仮称)」

熊野灘に面した東紀州地域は、古くから海運によって日本各地とつながり、様々な物が行き来することによって、港町や地場産業が栄えてきました。今回の展示では、菱垣廻船や尾州廻船、赤須賀船など、多くの廻船が帆をなびかせて熊野灘を航行していた時代を中心に、自然を利用し共に生きてきた地域の歴史と、「物を運ぶ」海のチカラを感じていただきたいと思います。

日 時:平成24年3月3日(土)～4月8日(日)
午前9時～午後5時 会期中無休

展示予定資料:千石船の模型、廻船関係の古文書、船給馬、船乗りの道具等



体験学習

1/2(日)～1/3(火) 特別企画 「お正月だよ!! スペシャル体験教室」

熊野古道センターでは、お正月に様々な体験教室を開催します。楽しい思い出づくりに是非ご来館ください。

おもちつき

◇日 時:1月2日(月) 午後0時30分～(無くなり次第終了)
◇参加料:無料

千支折り紙の飾り物づくり(辰)

◇日 時:1月2日(月) 午後1時～3時受付
◇参加料:300円
◇講 師:むつそうええ会

その場でできるひのきアート教室

◇日 時:1月2日(月) 午後1時～3時受付
◇参加料:ヒノキしおり200円、お箸300円 他
◇講 師:NPO法人海虹路会員

連凧づくり

◇日 時:1月3日(火) 午後1時～3時
◇定 員:20名(先着順・要申込)
◇参加料:100円
◇講 師:熊野古道センタースタッフ

木の実のストラップ

◇日 時:1月3日(火) 午後1時～3時受付
◇参加料:100円
◇講 師:熊野古道センタースタッフ

*体験教室のほか、羽根突きや風やコマなどお正月の遊び道具を無料で貸し出します。

1/8(日) 「東紀州の四季を味わう料理教室～プリを味わう～」

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。旬のプリを味わってみませんか。

◇時 間:午前10時～午後1時
◇場 所:体験学習室
◇定 員:24名(要申込)*応募者多数の場合は抽選になります。
◇参加料:2,000円
◇講 師:村林新吾氏(相可高校食物調理科教諭)
◇受 付:12/25(日) 午後5時まで



月別ひのきアート教室

地元の特産品である尾鷲ヒノキからできる魔法の素材・ひのきシートを使ってのものづくり教室です。

◇日 時:12月18日(日) お正月飾り
1月22日(日) お雛様
2月26日(日) 部屋飾り
◇定 員:各10名(先着順・要申込)
◇場 所:体験学習室
◇講 師:NPO法人海虹路会員



毎週日曜日 あなたも木工作家! その場でできる木工教室

事前申込不要!!来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物、木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。

◇時 間:午後1時～3時受付
◇参加料:200円～1,500円(申込不要)
◇場 所:交流ロビー
◇講 師(週替わり):NPO法人海虹路会員、川端一氏、大形弥生氏、畑中昇氏

1/15(日) 「ヒノキで奏でる森づくり～森の打楽器・カホンづくり体験～」

地域の特産品である尾鷲ヒノキの間伐材を利用して、ペルー発祥の打楽器カホンを作ります。カホンは簡単、手軽に始めることができるので、「何か楽器をはじめてみたい」と思う人にも最適です。

尾鷲ヒノキの贅沢な間伐材を楽しみながら活用することで、私たちの暮らしと森づくりについて考えるきっかけにもなれば幸いです。

◇時 間:午前11時30分～午後4時
◇場 所:体験学習室
◇定 員:15名(先着順・要申込)
◇参加料:3,000円(材料費を含む)
◇講 師:越後裕規氏(ひのき工房K'sFactory)
◇対 象:小学生以上(小学校低学年は家族同伴)



「お申込み・お問い合わせは、お電話か直接熊野古道センターへどうぞ! TEL:0597-25-2666」